

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製 品 名 : RV パウダーN 厚塗用
会 社 名 : 田島ルーフィング株式会社
住 所 : 東京都千代田区外神田 4-14-1
担 当 部 署 : 防水テクノサービス課
電 話 番 号 : 03-6837-8880
F A X 番 号 : 03-6837-8890
推 奨 用 途 : 躯体補修用下地調整材
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用を禁止する

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分に該当しない
可燃性固体 : 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性 経口 : 分類できない
経皮 : 分類できない
吸入；気体 : 区分に該当しない
吸入；蒸気 : 区分に該当しない
吸入；粉じん、ミスト : 分類できない
皮膚腐食性／刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 区分 2
発がん性 : 区分 1 A
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 1（呼吸器系、免疫系、腎臓）
誤えん有害性 : 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない
オゾン層への有害性 : 区分に該当しない

【GHS ラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、免疫系、腎臓の障害

[注意書き]

〔安全対策〕

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

〔応急措置〕

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露またはその懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。

〔保管〕

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

〔廃棄〕

内容物／容器を、国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : セメント系パウダー

成分	含有量(%)	CAS RN.	化管法 (PRTR)	安衛法 表示／通知対象物質
ポルトランドセメント	30～40	65997-15-1	該当しない	該当しない
結晶質シリカ(石英)	50～70	14808-60-7	該当しない	表示／通知対象物質 政令番号 第 165・2
酸化アルミニウム	< 10	1344-28-1	該当しない	該当しない
シリカ（結晶質、非結晶を 包含した二酸化ケイ素）	< 0.1	7631-86-9	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚異常が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるようにする。

眼に刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具（保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面）を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない

火災時の特定危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素が含まれるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける

特有の消火方法

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う

関係者以外は安全な場所に退去させる

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

風上から作業し、風下の人を退避させる

処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する

環境に対する注意事項

回収された廃棄物を河川等の流水域に流出しないよう注意する

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ほうき等で掃き集め、紙袋またはドラム缶等の空容器に回収する
二次災害の防止策
付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を用意する
漏出物の上をむやみに歩かない

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

〔技術的対策〕

局所排気装置の設置等、通気の良い作業所を確保する。

適切な保護具を付けて作業すること。

〔安全取扱注意事項〕

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

火気厳禁。炎、火気、高温体との接近、その他点火源となるおそれのある機械の使用を禁止する。

粉じん爆発を起こすおそれがあるため、防爆使用の設備を使用する。

取扱い後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ちこまないこと。

〔衛生対策〕

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用すること。

混合接触させてはならない物質：知見なし

保管

〔技術的対策〕

情報なし

〔安全な保管条件〕

直射日光を避け、換気の良いところに保管する。

水濡れ、吸湿しない様に注意する。

電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定められるところに従う。

子供の手の届かないところに保管すること。

盗難防止のために施錠すること。

〔安全な容器包装材料〕

製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

濃度基準：設定されていない

管理濃度：結晶質シリカ $E=3.0/(1.19Q+1)$

E ：管理濃度 (mg/m³) Q ：当該粉じんの遊離ケイ酸含有率 (%)

許容濃度：(混合物として設定なし)

ACGIH：TLV-TWA：1mg/m³ R (ポルトランドセメント)、TLV-TWA：0.025mg/m³ (呼吸性画分：結晶質シリカ)、TLV-TWA：10mg/m³ (アスベスト不含、結晶シリカ 1%未満の微粒子、酸化アルミニウム)

日本産業衛生学会：(吸入性粉じん) 1mg/m³, (総粉じん) 4mg/m³, (第2種粉じん；ポルトランドセメント)、(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³ (結晶質シリカ)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 作業環境に応じ、適切な防塵マスクを使用する。
- 手の保護具 : 不浸透性の保護手袋を着用する。
(ニトリルゴム製、LLDPE 製等が望ましい)。
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル等を使用する。
(サイドシールド付き保護眼鏡、ゴーグル形保護眼鏡が望ましい)
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖の衣服を着用し、長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用する。

特別な注意事項

作業終了後は、手洗い・うがいを十分に行う。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 個体
- 色 : 灰白色
- 臭い : 無臭
- 融点／凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当しない
- 引火点 : 該当しない
- 自然発火点 : 該当しない
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : 該当しない
- 溶解度 : データなし
- n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び／又は相対密度 : 約 2.7～3.1 (20℃)
- 相対ガス密度 : 該当しない
- 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 水と反応し固化する。
- 化学的安定性 : 常温、常圧で安定。
- 危険有害反応可能性 : 通常の保管、取扱条件で安定。
- 避けるべき条件 : 直射日光を避ける。
雨水等の水濡れを防止する措置を講じて保管する。
子供が接触できない場所に置くこと。
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : データなし

1 1. 有害性情報

急性毒性	：	データ不足のため分類できない
経口	：	
経皮	：	
吸入	：	
皮膚腐食性／刺激性	：	区分 1（水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、PH12～13 を呈するため、皮膚に炎症を起こす可能性がある。）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分 1（水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、PH12～13 を呈するため、眼に炎症を起こす可能性がある。）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	データ不足のため分類できない 製品は呼吸器系を刺激するおそれがある。
生殖細胞変異原性	：	区分 2（結晶質シリカ（石英） ≥ 1 ）
発がん性	：	区分 1A（結晶質シリカ（石英） $\geq 0.1\%$ ）
生殖毒性	：	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：	区分 3（気道刺激性）（結晶質シリカ（石英））
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：	区分 1（呼吸器系、免疫系、腎臓）（結晶質シリカ（石英） $\geq 10\%$ 、ポルトランドセメント）
誤えん有害性	：	データ不足のため分類できない

1 2. 環境有害情報

生態毒性	：	データなし
残留性／分解性	：	データなし
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし
オゾン層への有害性	：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。
汚染容器および包装	：	空きの汚染容器および包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	：	情報なし
品名（国連輸送名）	：	情報なし
国連分類	：	情報なし
容器等級	：	情報なし
海洋汚染物質	：	非該当
MARPOL73/78 附属書 II 及び	：	非該当
IBC コードによるばら積輸送される液体物質		

輸送又は輸送手段に関する特別 : 情報なし

の安全対策

国内規則

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。荷送人は運搬注意書（イエローカード等）を交付すること。

輸送の特定安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。密栓してあることを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。火気厳禁。

15. 適用法令

化管法（PRTR） : 該当しない

安衛法

危険物 : 該当しない

特化則 : 該当しない

有機則 : 該当しない

法57条 表示物質 : 結晶質シリカ（石英）第165-2号

法57条の2 通知対象物質 : 結晶質シリカ（石英）第165-2号

安衛則577条の2第3項 : 結晶質シリカ（石英）

がん原性物質

安衛則第594条の2 : 該当しない

皮膚等障害化学物質

毒劇法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

化審法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

航空法 : 該当しない

その他法令 : じん肺法（ポルトランドセメント、結晶質シリカ（石英））

（危険物船舶運送及び貯蔵規則など） : 水質汚濁防止法（酸化アルミニウム）

16. その他の情報

参考資料 JIS Z 7252 (2019)

JIS Z 7253 (2019)

GHS 改定7版 (2017)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

各原料の安全データシート

実務者のための化学物質法規制便覧2020版（化学工業日報社）

本安全データシート（SDS）は、作成日又は改定日までに弊社が入手できた資料、情報に基づいて作成しておりますが、新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は推奨用途を対象としたものですが、その内容を保証するものではありません。